

研究会開催報告

MIST 学会 会員各位

第 13 回中四国 MIST 研究会を 2025 年 6 月 21 日に開催しましたのでご報告します。今回の研究会は、愛媛大学山岡慎大朗先生と合同で、高知市の高知文化かるぽーとで開催させていただきました。高知ではまだまだ MIST の普及が少ない状態でしたので「高知で MIST を体験しよう」というテーマのもと、MIST を通して医師、メディカルスタッフが共に楽しく勉強ができる機会を作れるような内容としました。今回中四国から 147 名の方が参加していただき、盛会のもとに無事終えることができました。

演題発表は「若手演題」「各県代表」「メディカルスタッフ」の 3 つのセッション、計 27 演題で活発な意見交換や討論ができました。各県の施設でそれぞれの MIST が行われており、皆様興味深い内容の発表でした。今回は各セッションで優秀演題を設けました。「若手演題」では高知大学の溝渕周平先生、「各県代表」では愛媛大学の田嶋悠一先生、「メディカルスタッフ」では JCHO 玉造病院の西尾歩子先生が受賞されました。メディカルスタッフのセッションでは参加者が予想を超え、席が足りなくなり、ご迷惑をおかけしました。

講演は聖隷浜松病院の吉水隆貴先生に「UBE で学ぶ！黄色靭帯の微小解剖」、済生会中津病院の星野雅俊先生に「OVF の診断と治療をアップデートする」、高知赤十字病院の上田純子さん（手術看護認定看護師）に「脊椎手術に強くなろう」をご講演いただきました。新しい知見を踏まえた非常に興味深い内容でした。講師の先生方にはこの場をお借りして感謝申し上げます。

ハンズオンセミナーは 4 社に協賛していただき、BKP, VBS, fenestrated screw, UBE, FESS, AFESS を行っていただきました。手術場看護師より術前に手術機器に触れる機会が少ないといった意見を聞き、また若手の先生からベテランの先生、メディカルスタッフまで多くの方に手術機器に触れていただくために、MIST の基本手技から最近注目されている手技まで手術機器に触れられる機会を設け、レクチャーと実技指導をしていただきました。ハンズオンの申し込みも多数の方からご応募いただき、73 人の方に参加していただきました。応募枠に入れなかった方にはハンズオン終了後に機器に触れていただく時間を設けました。講師の先生にはご苦勞をおかけしましたが、大変勉強になったとたくさんのご意見をいただきました。

今回の研究会はその他多くのメーカーからの協賛をいただきました。皆様のお陰で、今回のテーマを達成できたのではないかと考えています。今回ご参加いただいた先生方、メディカルスタッフの方々にも感謝申し上げます。

来年の第 14 回中四国 MIST 研究会は広島県で中国労災病院の濱崎貴彦先生会長のもと開催される予定です。会場や開催日時については後日開示予定です。研究会会員の皆様におかれましては是非ご参加いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

第 13 回中四国 MIST 研究会

会長 喜安克仁（高知大学）

